

【長崎県と製薬会社との糖尿病・慢性腎臓病の予防及び医療提供体制に関する協力協定締結式について】（参考資料）

○糖尿病とは・・・

インスリンというホルモンの不足や作用低下が原因で、血糖値の上昇を抑える働きが低下し、高血糖が慢性的に続く病気。初期の場合、自覚症状がないことがある。糖尿病は、なるべく早い時期に治療を始めることが、病気の進行や合併症の予防にとって非常に重要である。糖尿病により血糖値の高い状態が長く続くと、さまざまな合併症（糖尿病性神経障害、糖尿病性網膜症、糖尿病性腎症など）が起こるが、生活習慣を改善し、適切な治療を続ければ、進行を遅らせ、合併症を防ぐことができる。

○慢性腎臓病とは・・・

明らかな腎障害がある状態、あるいは腎機能が低下した状態が3か月以上続く病気。進行すると腎不全となり、最終的には人工透析治療や腎移植が必要になる。新規人工透析導入患者の原因疾患では糖尿病性腎症が一番多く、本県では約3割を占める。

【本県の状況】

(1) 透析患者数の大幅改善が見られない

【透析患者数（人口100万人対）】

- ・R4 3,155人（全国2,781人多い順14位）
- ・H29 2,963人（全国2,640人多い順13位）

※参考

【糖尿病性腎症による新規透析導入患者数（割合）】（原因疾患の1位）

- ・R4 127人／399人（31.8%）（全国38.7%）
- ・H29 188人／481人（39.0%）（全国42.5%）

(2) 糖尿病が強く疑われる者は増加傾向

【特定健診受診者のうちHbA1c6.5%以上の者（40歳～74歳）】

- ・R2 7.23%（全国7.28%）
- ・H27 6.77%（全国6.68%）

※HbA1c・・・過去1～2か月の血糖コントロール状態の評価を行う上での重要な指標。
5.5%未満が正常、6.5%以上で糖尿病が強く疑われる。

(3) 特定健康診査の実施率が低い

【特定健診の実施率】

- ・R4 49.7%（全国58.1% 45位）
- ・H29 46.1%（全国53.1% 43位）

(4) 人口一人当たり国民医療費が高い

- ・R3 433,500円（全国358,800円 全国ワ-ト3位）
- ・H28 410,200円（全国332,000円 全国ワ-ト2位）